

留 学 報 告 書

記入日:2018年6月16日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: California State University Fullerton
留学期間	2017年8月～2018年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年5月23日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 8月中旬～12月中旬 2 学期: 1月中旬～5月中旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	40,400人
創立年	1957年

留学費用項目	現地通貨 (\$ USドル)	円	備考
授業料	\$11,244	1,236,840円	\$5,622×2 セメスター
宿舍費	\$13,392	1,500,000円	\$7,071(シングル,80ミール)+ \$6,321(ダブル,80ミール)
食費	\$600	66,000円	宿舍費に1学期間80回食事が付いてくるプランなのでそれを除いた自炊などの額
図書費	\$200	22,000円	教科書代
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費	\$400	44,000円	
医療費		円	
保険費	\$2,318	255,000円	形態:現地の保険(JCB)約750ドル×2 セメスター、明治の保険(東京海上日動火災保険)約9万
渡航旅費	\$2,090	230,000円	
雑費	\$200	22,000円	日用品など
その他	\$345	38,000円	ビザ申請
その他		円	
その他		円	
合計	\$30,789	3,413,840円	1ドル110円で換算

渡航関連

渡航経路: 往路-羽田～LAX

復路-LAX～BOS～YYZ～羽田(ボストンで観光をし、トロントで乗り継ぎをしたため)

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	約 12 万
復路	約 11 万
合計	約 23 万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

往路は JTB、復路は eDreams を利用しました。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

キャンパス内の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数:個室の時は自分含め4人、相部屋の時は6人)

3)住居を探した方法:

大学から送られてくるメールに従って手続きしました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

相部屋は言わずもがな、コミュニケーションをとることが多くなります。他国の学生と深く関われるチャンスでもあるので、相部屋が気にならない人にとってはいいと思います。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友達や学校の college park にある留学担当デスクに相談していました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在ロサンゼルス日本国総領事館から送られてくるメールに目を通していました。また、大学から不審者への注意喚起メールが何回か送られてきました。

犯罪に巻き込まれたことはありませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校内はほぼどこでも wifi に繋がることができました。学校外だと、カフェなどのお店の wifi を使えることも多かったです。携帯は日本で使っていたものをそのまま持って行き、ソフトバンクのアメリカ放題を利用していました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に銀行口座を開設し、日本から送金してもらいました。また、日本から持って行ったクレジットカードも併用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

延長コード、常備薬

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

授業料は秋学期は現金で、春学期は現地で開設した銀行のチェックで払いました。また寮費は、1学期中に3回分割で払いました。オンライン上でクレジットカードでも払えますが、手数料でいくらか余分に払わなければいけなかったため、最初以外はチェックで払いました。

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
リクナビ、マイナビ、外資就活
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
就職活動はこれから本格的に始まりますが、国際協力機関などに興味があります。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学先で学んだ分野は私の興味のあることで、就活をする上で希望する就職先への思いが強くなりました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Language and Linguistics	言語と言語学
科目設置学部・研究科	Linguistics
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が2回
担当教授	Dr. Neil Alexander Walker
授業内容	言語学の根本的なルールや構造、発音記号などを学びました。
試験・課題など	教科書の章末問題をレポートにまとめて提出する課題が 5 回。学期末に言語に関わるリサーチペーパーがシングルスペースで6ページ課されました。その他に、中間と期末テストがありました。
感想を自由記入	言語学の基礎について教科書を用いながら学びました。クラスは 50 人くらいで、生徒が積極的に発言したりととても明るく自由な雰囲気での授業でした。クラスの中には母国語が英語以外の生徒もいて、発音記号の回の時にはその発音を生徒が実践してくれて、実際に聞いたことは本当に良かったです。専門用語が多く覚えることが大変でしたがその分学ぶことも多く、留学中に受けたかった授業だったので満足しています。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Languages of the World		世界の言語	
科目設置学部・研究科	Linguistics		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が2回		
担当教授	Dr. Neil Alexander Walker		
授業内容	言語学の根本的なルールや構造、発音記号を学びました。また、言語族やアメリカの先住民諸語についても学びました。上記の授業との関わりが強かったです。		
試験・課題など	1ページほどのペーパーが5回、学期末に言語に関わるリサーチペーパーがシングルスペースで6ページ課されました。そのほかに中間と期末テストがありました。授業前はリーディングが課されました。		
感想を自由記入	世界の言語ということで、日本語についても少しではありましたが学びました。地域のアクセントが反映されている歌などを映像で見聞きしながら学べたのでとても楽しかったです。上記の授業も担当していた教授は留学生にとっても理解があり、分からない時にオフィスアワーに行った時に、とても丁寧に教えていただきました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Modern Japan		近代日本史	
科目設置学部・研究科	Modern Languages and Literatures (Japanese)		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ディスカッション形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Dr. Kazuha Watanabe		
授業内容	江戸時代からの日本の歴史について学びました。		
試験・課題など	毎週リーディングに関するミニテストがありました。また、中間、期末テストに加え、学期末にペアでのプレゼンテーションがありました。		
感想を自由記入	日本史の授業だったので、生徒たちは日本にバックグラウンドがある人や興味がある人が多かったです。中学レベルの知識があれば十分ついていけましたが、時には豆知識のようなことも授業内で扱われ、知らないことを学べて楽しかったです。ディスカッションではアメリカ人が日本についてどう思っているのかを知れるいい機会でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Gender Studies in the Humanities		ジェンダー学入門	
科目設置学部・研究科	Women and Gender Studies		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Dr. David Christian		
授業内容	ジェンダー学の入門的なことを学びました。		
試験・課題など	1ページのペーパーが 2 回、2ページのペーパーが1回。その他に、毎授業前に指定された教科書のリーディングが課され、それに関するミニクイズが回りました。中間、期末テストはありませんでした。		
感想を自由記入	ジェンダー学の基本的なことを、教授の人生経験を交えながら丁寧に講義をしてくれて、とても楽しみながら学べました。また、授業内で映画や漫画を見ることでジェンダー学に対する理解を深めることができました。多様性に溢れるアメリカだからこその視点も学べたと思います。教授は、エッセーを書くときに毎回アドバイスをくれました。生徒がとても積極的で、刺激的なクラスでした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Global Cuisines		世界の食べ物	
科目設置学部・研究科	Geography		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Dr. Leaa Short		
授業内容	地域ごとに文化的な視点から見た食べ物や飲み物のタブーや変わった風習などを追求した授業でした。		
試験・課題など	3ページのペーパーが2回、料理を調べるプロジェクトが1回、グループで行うプレゼンテーションが2回ありました。その代わりに、中間、期末テストはありませんでした。		
感想を自由記入	世界の食べ物を学ぶ授業だったので、みんなでテーマに沿った食べ物を持ち寄り、それを食べながら授業を受ける日が何回もあり、日本にはないタイプの授業だったので楽しかったです。レポートは多くはありませんでしたが、文法や参考文献など細かくチェックを受けました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Religions of the World		世界の宗教	
科目設置学部・研究科	Religious Studies		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Dr. James D. Rietveld		
授業内容	アフリカの宗教やアメリカに古くから根付く宗教からキリスト教といったメジャーな宗教まで一通りの宗教の成り立ちや基本的なことを学びました。		
試験・課題など	2ページのリフレクションペーパーが5回、学期末に5ページのペーパーがあったほか、2回の中間テストと最後に期末テストがありました。		
感想を自由記入	この授業では、教授がひたすら講義をし、その内容を聞き取ってノートをとっていました。教授はホワイトボードに単語しか書かないので、聞き取るのが大変でした。また、その単語の中からテストにでるので、ある意味一番大変でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Fundamental Spanish - A		初級スペイン語	
科目設置学部・研究科	Modern Languages and Literatures (Spanish)		
履修期間	春学期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 270 分が 1 回		
担当教授	Dr. C. Mendoza Díaz		
授業内容	基本的には教科書を中心に授業が進みましたが、毎授業ペアとなってスペイン語を話す機会がありました。先生はスペイン語でまず話し、その後に英語で説明してくれました。内容はスペイン語の初級にあたると思います。		
試験・課題など	2つの章が終わるごとにテストがあり(計4回)、期末テストもありました。また、1ページほどのペーパーが4回と毎授業後にオンラインで提出する予習と復習がありました。学期末にはペアとなって 10 分のインタビュー動画を作り、それが口頭試験の代わりでした。そのほかにラテンアメリカに関する場所または美術館を訪れ、それについての感想を1ページ書いて提出しました。		
感想を自由記入	教授はとても気さくな方で、クラスも約 20 人と少人数だったのでとてもアットホームな雰囲気の中で授業を受けることができました。スペイン語をスペイン語と英語で学ぶということで追っていくことが大変な時もありましたが、そんな時は教授や現地の生徒が助けてくれました。週1の授業ということで少し授業時間が長かったのですが、毎回楽しかったので全く苦痛ではありませんでした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender and Globalization	ジェンダーとグローバル化
科目設置学部・研究科	Women and Gender Studies
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Laura Beeby
授業内容	グローバル化している世界においてジェンダーという分野がどのように見られているのかに焦点を当てた授業でした。特に発展途上国の女性の立場に着目していました。
試験・課題など	1ページのミニペーパーが4回ありました。また、中間テストの代わりに約5ページのペーパー、期末テストの代わりに5ページのペーパーが課されました。
感想を自由記入	カリフォルニアは多様性に溢れた場所で、この分野についての理解が深いと感じられた授業でした。授業内のディスカッションや扱われる用語はどれも専門的な内容で、覚えたりついていくことが大変でしたが、勉強した分だけ自分の知識になっていく実感があり、本当に取って良かったと思える授業です。世界で起きているリアルタイムの問題をジェンダーに対する理解が進むこの地で学べて良かったです。教授も大変優しく、学ぶことが楽しかったです。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	大学受験
4月～7月	TOEFL 勉強
8月～9月	協定校留学についての情報収集 TOEFL 受験
10月～12月	出願、選考
2017年 1月～3月	選考発表 留学先の情報収集
4月～7月	入学許可 ビザ取得 寮の手続き など
8月～9月	出国 秋学期開始
10月～12月	中間・期末試験 冬季休み
2018年 1月～3月	冬季休み 春学期開始
4月～7月	授業開始、中間・期末試験 帰国 就職活動準備
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	一番の理由は、英語を学習のツールとして興味のある分野を学びたかったからです。日本では英語自体を学ぶ事が多かったですが、そうではなく英語を学ぶための道具として使いたいと思いました。そして、興味のある分野(言語学、ジェンダー学)が他の国ではどのような視点から学ばれているのかが知りたかったです。また、海外の学習環境の中で学びたいと思ったのも理由の一つです。高校生の時に短期留学をした際、現地学生の積極性に驚きました。ディスカッション中心の授業を受けることでより深く学べると思いました。高校生の時から異文化の中で生活をしたいという漠然とした願望も、留学への思いを強くしてくれたと思います。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学に関しては、渡航前から空き時間を利用して英語に触れるようにしていました。また、TOEFL 対策の授業を受けたり、英語で開講されている授業を積極的に受けることで、留学に対するモチベーションを上げていました。語学力はどんなにやっても後悔はないと思うので、できるだけ準備をしておいた方がいいと思います。また、私は興味のある授業を調べ、実際に同じ留学先へ行った先輩から授業などについてのアドバイスをいただきました。
この留学先を選んだ理由	ずばり多様性です。カリフォルニア州はアメリカの中でも特に様々な人種の人々が暮らす場所で、私の留学先大学はアメリカを母国としない生徒がたくさんいることを知ってきました。多様性に溢れていたのも、私が学びたいと思っていたジェンダー学や言語学の授業も充実しており、留学の第一目的がその分野を学ぶことだったので、この大学に決めました。アメリカの中には保守的な州も多数ある中で、多様性に寛容なこの地で学べたことは本当に良かったです。
大学・学生の雰囲気	大学はとても広々としていて、自然が多く開放的な空間でした。キャンパス内ではリスやカモ、ウサギなどの野生動物もたくさんいました。カリフォルニアは基本的には夏はとても暑く、冬もコートはほとんどいらぬような暖かい気候で、暑くても乾燥していたのでとても過ごしやすかったです。学生はとても自由な雰囲気、学習への意欲が高いと感じました。現地の学生は気になることがあれば躊躇なく質問します。何事にも熱心に取り組む姿は、私にとってとてもいい刺激になりました。
寮の雰囲気	<p>私が住んでいた学内の寮には、各自が自分の部屋を持ち、2つのバスルームとキッチン、リビングを4人でシェアするシングルタイプと、2人で1つの部屋、2つのバスルームとキッチン、リビングを6人でシェアするダブルタイプがありました。夜はリビングでルームメイトと一緒に課題をしたりおしゃべりをするなど、楽しい時間を過ごせました。シングルタイプの方が日当たりが良く、綺麗な印象です。寮でのイベントは、RAというそのフロアのリーダーが月に何回かイベントを企画してくれて、参加することもありました。</p> 

<p>交友関係</p>	<p>私が交友関係を築く基盤としたのは、主にクラブ活動と授業です。クラブ活動では、私は秋学期春学期ともにバスケのチームに参加していました。チームメイトは現地学生ばかりでしたが、毎週勝利を目指して試合をしたことは忘れられない思い出です。また、Adventure club という毎週末に山へハイキングに行ったりキャンプをしに行くというクラブで、他国からの留学生も多く何人か友達になることができました。他には、キリスト教系のクラブに参加もしていました。私にとっては馴染みのないキリスト教でしたが、異文化理解のとてもいい機会だったと思います。授業では相手から話しかけてくれることはほぼありません。なかなか話しかけるのに勇気がいりますが、自分から話しかけたおかげで、今でも連絡をとり合う友達ことができました。</p> 
<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>困ったことはほとんどありませんでしたが、ダブルタイプの寮の時に相部屋のルームメイトと多少は生活リズムが違ったりしたので、そのコミュニケーションはよく取っていました。大変だったことは、課題です。日本での課題よりも明らかに多かったのが苦労しましたが、終えたときには大きな達成感を得られました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>私は言語学とジェンダー学を中心に履修しました。100 番台の授業は基本的な内容で、基礎から学びかったのでとても良かったです。逆に 300 番台の授業はディスカッションが多かったです。授業が始まったばかりの頃は専門用語も多く聞くだけで精一杯でしたが、分からないことがあるときはオフィスアワーへ行き教授に質問をしたり、友達に教えてもらうことで授業のカバーをしていました。授業についていくことが大変な時もありましたが、必ず周りの誰かが助けてくれました。内容は難しくても、自分の学びたい分野を存分に学び、吸収できたのでとても満足しています。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>課題は言わずもがな、日本よりも圧倒的に多かったです。ほぼすべての授業でリーディングが課され、コンスタントにレポートもありました。中間試験や期末試験シーズンはいくつかの課題の提出日が集中するので、計画的に課題を進めることが重要だと感じました。テストは教授がスタディーガイドをくれるので、それをもとに勉強しました。期末試験シーズンは図書館が24時間開放されるので、よく図書館に居残って勉強したのは良い思い出です。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>私が入っていたバスケットボールクラブは、基本は留学先大学の生徒が参加していましたが、チームメイトの中には外部からの参加者も居ました。大学の垣根を越えて交流できたと思います。対戦したチームの中にも外部チームがあったりと、交流を楽しむことができました。また、南カリフォルニア近郊に住んでいる明治大学 OB.OG の方々主催の BBQ などにも参加させていただき、とても良い経験をさせていただきました。</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>留学中は何事にも挑戦して欲しいです。積極的に自分から話しかけないと、友達もできません。留学は1年もしくは半年と期間が決まっています。だからこそ、自分がやりたいことに躊躇せずに挑戦して欲しいです。そのためには、留学における明確な目標を持っていることが重要だと思います。大変なことがあっても、その目標があればきっと乗り越えられるはずです。留学はゴールではないと思います。留学先で何か一つでも「本当に頑張った」と言えるような経験が、今後につながってくると思います。自分だけの最高な留學生活を送れるように頑張ってください。応援しています。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	起床	起床	起床	授業		起床
	授業①	授業	授業①	授業	授業	起床	自習
午後	授業②	自由時間	授業②	自由時間	自由時間	自由時間	自習
	自習	自習	自習	自習	自由時間	ジム	自習
夕刻	自習	ジム	バスケ	課外活動	自習	自由時間	自由時間
夜	就寝	自習	就寝	自習	就寝	就寝	就寝